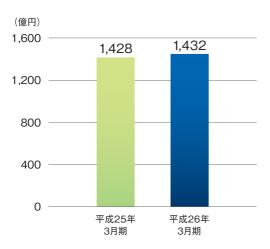
売上収益

1,432億円 前期比 0.3%增



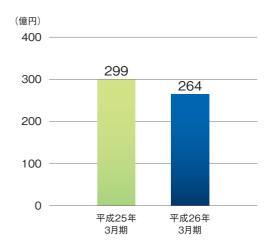
長期収載品の売上は減少するも、 主要新製品の売上が増加し、微増収

長期収載品は後発医薬品使用促進策の影響などにより売上が減少しましたが、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」や骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」などの主要新製品の売上が増加したことにより、当期の売上収益は前期比4億円(0.3%)増の1,432億円となりました。

営業利益

264億円

前期比 11.7%減



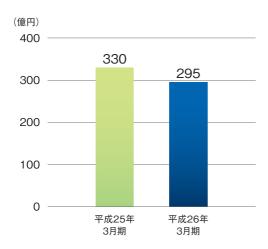
販売費及び一般管理費の増加や 売上原価率上昇により減益

原価率の高い新製品(導入品)の売上拡大に伴い、売上原価が増加しました。また、市販後調査費用やコンピュータ関連投資などの増加によって研究開発費を除く販売費及び一般管理費も増えたことにより、当期の営業利益は前期比35億円(11.7%)減の264億円となりました。

税引前当期利益

295億円

前期比 10.7%減



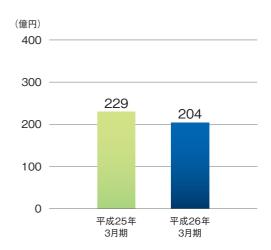
金融収支は前期並みとなるが、営業減益を補えず、減益

金融収支が前期とほぼ同額の30億円となりましたが、営業利益の減少を補うことができず、税引前当期利益は前期比35億円(10.7%)減の295億円となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益

204億円

前期比 11.2%減



税負担は減少するも、減益

試験研究費に係る税額控除の限度額が拡大し法人税等が前期より減少した一方で、復興特別法人税が前倒しで廃止されたことに伴う繰延税金資産の取り崩しもあり、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比26億円(11.2%)減の204億円となりました。